



排水再利用で環境保護企業へ  
T B カワシマ株式会社

当社は、自動車を中心に列車・航空機などのシート・内装用ファブリックの開発から製造までの事業を行っております。

ファブリックの製造工程におきましては、染色を中心に年間約52万m<sup>3</sup>に及ぶ大量の水を使用しており、これはトヨタ紡織グループ全体の年間使用量の約8割弱を占めています。これらの使用水は浄化処理後、河川に放流し、近畿圏1690万人の水瓶である琵琶湖へと注ぎ込まれますが、滋賀県では国内有数の厳しい排水基準が定められており、当社の事業活動における排水管理は正に生命線となっています。そこで法令を上回る自主基準値を定め、日常管理はもとより、万一の排水異常に備え、補助ピットの設置やオイルフェンスの常備等の対策と訓練を徹底し、永年に渡り法令を遵守して参りました。こうして培ってきたノウハウを活かし、近年環境問題が懸念されている中国においても、子会社の川島織物（上海）の工場に、いち早く浄化処理設備等を導入し、染色加工排水の約3分の2を再利用可能にする等の成果を上げ、この度、上海市より環境保護企業として表彰を頂くこととなりました。今後もグローバルでの環境保全活動に注力し、地域貢献と事業の発展に邁進して参ります。



T B カワシマ（本社所在地）



加工排水浄化装置



徐行鎮政府からの表彰楯



上海嘉定区政府からの表彰楯